

『看護補助体制充実加算対象研修Ⅰ』 研修会実施報告

日時 : ①令和5年5月12日(金) 8:30~9:30

: ②令和5年5月16日(火) 8:30~9:30

対象者 : 介護福祉士及びナースングエイド

参加者数 : ①17名 ②18名

目標 : 医療制度の概要及び病院の機能と組織を理解し、倫理観を養うことができる

<講師の紹介>

副看護局長 H



<内容>



今回の研修は、介護福祉士及び、ナースングエイド全員を対象に1時間の研修を2回に分けて行いました。「看護補助体制充実加算」は、看護師から看護補助者へのタスク・シフト/シェアすることで、看護師の負担軽減を図る狙いで新設され、当院においても全看護職員、所定の研修を終え今年度より取得しています。

看護師と看護補助者との業務分担・協働が推進されることで、看護の専門性が発揮でき、また、看護補助者の知識やスキルも向上し、より良いケアの提供に繋がることを話して頂きました。

倫理については、まず倫理とは何かをわかりやすく説明して頂き、人としての尊厳を尊重すること、個別特性に応じたケアを提供することの大切さを学びました。倫理には明確な正解はなく、倫理問題について考えたり、感じたりすること、他人と意見交換することなどで倫理的感性が磨かれることも再認識することができました。ナースングエイドは患者とコミュニケーションをとる機会も多く、プライバシーや個人情報を取り扱うこともたくさんあります。日々の業務の中で知り得た個人情報の取り扱いの重要性も理解でき、普段の自分の行動を振り返る良い機会となりました。

今回の研修で学んだことを活かして、医療従事者としての役割を理解しながら、看護チームの一員としてチーム医療に貢献してほしいと思います。